

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	277万7	258万7	336～337

【教育総務課】

○教育委員会

定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を3回開催した。定例教育委員会のうち4回は、傍聴者に配慮して公民館で4回開催した。（杉谷公民館3回、霊丘公民館1回）

【議案審議の状況】

区 分	教育委員会開催回数		議案原案可決
	定例会	臨時会	
件 数	12	3	63



<定例教育委員会>

教育委員の自己研鑽として、研修会への参加及び先進地への視察研修を行った。

- ・長崎県市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会（長崎市）及び研究大会（新上五島町）に参加し、分科会ごとのテーマに沿って各市町委員と意見交換を行った。
- ・平成27年2月には、「人材育成」をテーマに福岡県久留米市のあかつき幼稚園と山口県の萩市立明倫小学校の先進地視察を行った。

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	1	2	事務局費	3億4,966万2	3億4,435万1	336～343

【学校教育課】

○北村西望賞教育美術展 68万4千円

名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展（第36回目）を開催した。

- ・平面の部及び立体の部 出品数267点
- ・北村西望賞 6人
- ・奨励賞 18人

○小中学校学力向上対策事業 175万6千円

全国学力・学習状況調査及び県学力調査に加え、学力の新たな検証軸として市独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、習熟度に応じて指導するなど学力向上に向けての取り組みの一層の充実を図るために実施した。

また、教職員の授業力改善を図るために教育講演会、先進地視察を実施した。

成果として、下記の事項があげられる。

- ・全国学力・学習状況調査及び県学力調査の前学年において市学力調査を実施したことで、市全体また学校別の学力の定着状況、課題を把握することができた。
- ・小学校算数Aが全国平均を上回った。算数Aを含め8項目中5項目で全国平均との差が縮まった。
- ・明確になった課題の改善に向けて、個に応じた学習に取り組むことができた。
- ・授業改善のための先進地の取組を知ることができた。

具体的実践事項

- ・市学力調査実施
 - 小4・中1…国語、算数、数学
- ・問題データベースの導入
 - 小学校…算数
- ・島原市教育講演会への講師招聘
 - 秋田県教育庁義務教育課学力向上推進班 副主幹 鷲谷真一 氏
- ・先進地視察
 - 秋田県能代市教育委員会、能代市立二ツ石中学校…指導主事、校長、研究主任各1人
 - 福井フォーラム、永平寺町立上志比中学校…指導主事1人、校長4人

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	1	3	外国語指導助手 招致等事業費	2,248万7	2,160万8	342～343

【学校教育課】

○外国語指導助手招致等事業 1,656万3千円

現代社会の国際化に対応できる児童・生徒の育成を目的に、外国語指導助手を招致し、中学校では週に2～3回、小学校では週に1回程度外国語指導助手との授業を実施した。小学校においては英語への興味・関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育った。

- ・外国語指導助手 4人

氏名	母国	任期
Tac Yip (タック イップ)	U. S. A.	2014. 4. 24～2015. 4. 23
Dominic Sandval (ドミニク サンドバル)	U. S. A.	2014. 8. 4～2015. 8. 3
Andrea Asai (アンドリア アサイ)	U. S. A.	2013. 8. 5～2015. 8. 4
Latashia Cooper (ラターシャ クーパー)	U. S. A.	2013. 8. 5～2015. 8. 4

○中学生海外訪問交流事業 504万4千円

将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指し、本市中学生に、夏季休業中を活用した海外の教育関係施設の見学及び現地中学生との交流活動を体験させ、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うことを目的とし、英語圏であり、学力では世界のトップクラスであるシンガポールを訪問地とした。参加者は15人の市内中学3年生で、経費の一部には参加生徒の保護者負担(3万円×15人)、長崎県市町村振興協会の国際交流支援事業補助金(187万8千円)を活用した。訪問した生徒は、本事業を自身の今後の目標や進路に生かしていくことを述べている。

- ・活動状況

期日	内容
6月26日(木)	第1回事前研修会
7月17日(木)	第2回事前研修会
7月24日(木)	第3回事前研修会
7月25日(金)	出発式
7月30日(水) ～ 8月3日(日)	シンガポール滞在 セントフランシス・メソジスト・スクールとの交流 国立博物館、マリーナベイ・サンズ・スカイパーク、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ、マーライオン公園、セントーサ島、市内見学(異文化町歩き)、ナイトサファリ
8月26日(火)	報告会

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	1	4	不登校児童生徒 適応指導事業費	232万0	210万5	342～345

【学校教育課】

○不登校児童生徒適応指導事業 210万5千円

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てる。

・心理的又は情緒的理由により、登校できない状態にある児童生徒に対して、学校への復帰や適応指導教室での学習の援助を行った。

・適応指導教室「ひまわり教室」 島原市北門町130番地

相談員数 2名

開室日 毎週月曜日から金曜日までの週5日

開室時間 午前9時30分～午後3時30分

活動内容 ①児童生徒に対する支援 ②保護者への支援 ③在籍校への支援

・平成26年度小中別不登校児童生徒数 (単位：人)

区 分		男子	女子	計
不登校児童生徒	小学校	1	1	2
	中学校	17	12	29
計		18	13	31
ひまわり教室通級者数	小学校	0	0	0
	中学校	5	6	11
計		5	6	11

・不登校児童生徒数の推移

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	人数(人)	4	4	4	7	2
	出現率(%)	0.15	0.15	0.15	0.28	0.08
中学校	人数(人)	24	23	15	25	29
	出現率(%)	1.65	1.69	1.06	1.78	2.05
人数計(人)		28	27	19	32	31

(不登校とは、外傷病気等ではなく年間30日以上欠席があったもの)

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	1億3,638万5	1億2,772万5	344～349

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 1,607万5千円

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全の確保に努めた。

○学校管理備品購入費 896万6千円

児童用机・イスほか器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品目	学校名	金額（円）
児童用机・イス	一小・高野小・湯江小	1,801,764
その他の机・イス類	四小・大三東小	447,444
配膳台	四小・湯江小	907,200
ビジネスフォン	大三東小・高野小・湯江小	1,811,268
検診用器具類	二小・五小・三会小・湯江小	304,020
校旗	三会小	745,200
フルカラー拡大機	三小	343,440
その他	—	2,606,098

○育友会補助金 212万9千円

各小学校育友会、PTAに対し補助金を交付した。

$$21,500円 \times 11月 \times 9校 = 2,128,500円$$

○校庭芝生化事業 19万3千円

- ・事業目的 児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を造成する。小学校よりモデル校を選定して、地元住民が主体となって校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組んだ。
- ・実施小学校 第四小学校
- ・活動場所 第四小学校運動場
- ・活動内容 芝が剥がれている箇所へ苗移植作業、施肥、芝刈、水やり（適宜）

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	5,574万9	5,201万2	348～353

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 108万8千円

教育振興のための機械器具を整備し、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額（円）
トランポリン	大三東小	334,800
バレーボール支柱	四小	169,560
指揮台・ひな壇	二小	217,080
その他	—	366,120

○備品購入費（理科教育設備整備） 87万8千円

科学的な知識等の習得、工夫創造の能力を養うため、理科教育の機械器具を整備した。

購入備品：顕微鏡、標本、実験用具等

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業 79万3千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団登校を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施小学校 全9校
- ・活動場所 長崎県立千々石少年自然の家 一小、三小
国立諫早少年自然の家 二小、四小、五小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
- ・日 程 1泊2日 一小、三小、大三東小、高野小、湯江小
2泊3日 二小、四小、五小、三会小、
- ・活動内容 ナイトハイキング、オリエンテーリング、野外炊飯、焼き板づくり、
課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、
星空ウォッチング等

○学校司書配置事業 576万9千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置した。その結果、貸し出し冊数、レファレンス（図書・資料の紹介・提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各小学校に学校司書を1人配置（計9人）
- ・1日6時間の週3日配置

図書貸出冊数（一人平均）	24年度	25年度	26年度
小学校	98.1	130.1	160.7

○特別支援教育支援事業 551万3千円

小学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある児童の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・各小学校に支援員を1人配置（計9人）
- ・1日5時間の週5日配置

○外国語活動支援員事業 102万5千円

市内全小学校の5・6年児童に外国語活動の授業の充実を図るために、学級担任とALTがチームを組んで授業を行っていくが、ALTが配置できない学級へ外国語活動支援員を配置し学級担任とチームを組んで外国語活動の充実を図った。

- ・1日6時間の週5日配置（年200日を超えない）

○幼児ことばの教室設置事業 78万5千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害の改善及び克服を行った。

- ・第二小学校に支援員を1名配置
- ・概ね週4日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行う。

○指定小学校研究校補助金 94万0千円

毎年、小学校の4～5校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って学校単位で3年間研究に取り組むことをとおして教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって、成果を上げることができた。

学校名	研究テーマ	備考
第一小学校	「思考力・表現力を育てる算数科指導法の創造」 (算数科)	25～27年度 2年目
第四小学校	「自ら考え、学び合い、高め合う子どもの育成」 (算数科)	26～28年度 1年目
第五小学校	「できる喜びを感じる国語科学習の創造」 (国語科)	24～26年度 3年目
湯江小学校	「国語科における読みの力を育てよう」(国語科)	26～28年度 1年目

【教育総務課】

○就学援助費 614万8千円

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

- ・学用品費 306件 492万5千円
- ・社会科見学活動費 43件 7万3千円
- ・校外活動費 60件 16万3千円
- ・修学旅行費 58件 98万7千円

準要保護状況

		26年度	25年度
認定者数	小学校	300人	337人
	中学校	257人	264人
	計	557人	601人
認定率	小学校	12.76%	13.74%
	中学校	18.21%	18.88%
	計	14.81%	15.61%

(小中学校合計額)

品目	金額(千円)	一人当たり (円/年)
学用品費	13,036	23,113
社会科見学活動費	72	1,685
校外活動費	335	2,378
修学旅行費	4,314	32,685
医療費	1,319	5,638
学校給食費	25,889	44,330
計	44,965	—

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	1億 560万 0	1億 306万 5	352~355

【教育総務課】

緊急度を考え計画的に小学校施設の整備充実に努めた。

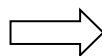
工事請負費内容

学校名	工事名称	金額 (円)
第二小学校	14棟校舎児童手洗場改修工事	496,800
第三小学校	浄化槽取替改修工事	40,539,960
	遊具取替工事	1,134,000
第五小学校	鉄骨校舎改修工事	19,883,880
三会小学校	プール改修工事	10,530,000
	プールのトイレ改修工事	1,181,520
高野小学校	遊具取替工事	1,662,120
	小プール改修工事	1,222,560
湯江小学校	運動場放送設備改修工事	1,447,200
	給食保管室改修工事	1,161,000
	遊具取替工事	594,000

<第五小学校 鉄骨校舎改修工事>



(着工前)



(完成)

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	2	4	非構造部材 耐震化事業	3億1,552万9	3億1,552万9	354～355

【教育総務課】

小学校の校舎・体育館などの建物の耐震化については、平成24年度で耐震補強工事が完了している。体育館天井部材の落下防止対策等をはじめとした非構造部材の耐震化は、平成26年度は、4校（第五小、三会小、大三東小、湯江小）の工事を実施し、また、平成27年度工事予定の5校分（第一小、第二小、第三小、第四小、高野小）の実施設計を行った。（平成25～27年度の3か年計画）

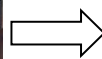
非構造部材落下防止工事（小学校）請負費内容

学校名	工事名称	金額（円）
第五小学校	体育館非構造部材落下防止改修工事	68,634,000
三会小学校	体育館非構造部材落下防止改修工事	71,411,760
大三東小学校	体育館非構造部材落下防止改修工事	86,510,160
湯江小学校	体育館非構造部材落下防止改修工事	82,574,640

<湯江小学校 体育館>



(着工前)



(完成)

小中学校の耐震化等の状況（平成27年4月1日現在）

区 分		小学校	中学校	計	県内	全国(H26)
耐震診断実施率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.5%
耐震化率	25年度	100.0%	100.0%	100.0%	87.9%	92.5%
	26年度	100.0%	100.0%	100.0%	94.3%	95.6%

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	9,113万2	8,362万8	354～359

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 892万2千円

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全に努めた。

○学校管理備品購入費 353万4千円

机・イス、図書室本棚ほか器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額（円）
机・イス	一中・三中・有明中	1,274,400
図書室本棚	三会中・有明中	586,872
ビジネスフォン	有明中	603,720
パソコン・プリンター	二中・有明中	321,652
工具類	三会中・有明中	153,390
視力検査器	一中	102,600
その他	—	491,616

○育友会補助金 118万3千円

各中学校育友会、PTAに対し補助金を交付した。

21,500円×11月×5校=1,182,500円

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	4,695万2	4,352万3	358～363

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 236万8千円

教育振興のための機械器具を整備し、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額（円）
楽器	一中・二中	1,814,400
体育用品	一中・三中・三会中	262,748
その他	—	291,292

○備品購入費（理科教育設備整備） 55万8千円

科学的な知識等の習得、工夫創造の能力を養うため、理科教育の機械器具を整備した。

購入備品：顕微鏡、実験用具、原子構造模型等

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業 100万4千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団登校を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施中学校 全5校
- ・活動場所 県立千々石少年自然の家 一中、二中、三中、三会中、有明中
- ・日 程 1泊2日
- ・活動内容 星空ウォッチング、キャンプファイヤー、野外炊飯 等

○学校司書配置事業 318万0千円

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置した。その結果、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス（図書・資料の紹介・提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各中学校に学校司書を1名配置（計5名）
- ・1日6時間の週3日配置

図書貸出冊数（一人平均）	24年度	25年度	26年度
中学校	7.9	13.1	16.4

○特別支援教育支援事業 303万8千円

中学校において、普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・各中学校に支援員を1名配置（計5名）
- ・1日5時間の週5日配置

○中高教育交流事業 10万5千円

「^{いのち}生命」の教育の施策の一つとして、三会中学校と島原農業高校との交流事業を実施した。羊の受精・誕生、飼育、と殺・試食までを年間8回の授業を実施し、年間を通じて貴重な体験活動が展開され、本市教育の基盤である『生命・きずな・感謝の心』の具現化を図ることができた。

連携校 島原市立三会中学校 県立島原農業高等学校

対象学年・生徒数 1年生 48名

期 日	授業内容	場 所
4月23日（水）	オリエンテーション、学習のねらいと計画	三会中学校
5月 9日（金）	ケージ準備、羊との対面	三会中学校
5月26日（月）	羊の毛刈り	三会中学校
6月30日（月）	羊の体重測定	三会中学校
9月17日（水）	羊とのお別れ式	三会中学校
10月30日（木）	三會中発表会	三会中学校
1月29日（木）	1年1組 調理実習試食	三会中学校
1月30日（金）	1年2組 調理実習試食	三会中学校

○心の教室相談事業 307万3千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在である「心の相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供した。

（相談員の職務）

- ・生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行う。
- ・地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行う。
- ・その他、学校教育活動の支援を行う。

（心の教室相談員 配置数）

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
配 置 数	各中学校に1人	各中学校に1人	各中学校に1人

(相談者の数)

	1年		2年		3年		合計	
性別計	男 229	女 177	男 76	女 141	男 320	女 565	男 625	女 883
計	406		217		885		1,508	

(心の教室相談員等連絡協議会開催回数)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	4	3	3

○指定中学校研究校補助金 70万5千円

毎年、中学校の2～3校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って3年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって成果を上げることができた。

学校名	研究テーマ	備考
第一中学校	「確かな学力を身につけた生徒の育成」 (学力向上)	24～26年度 3年目
第二中学校	「将来へ向けての志を持ち、自立できる生徒の育成を目指して」 (キャリア教育)	25～27年度 2年目
三会中学校	「夢・志を抱き、巣立つ生徒の育成」 (キャリア教育)	26～27年度 1年目

【教育総務課】

○就学援助費 1,161万1千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

- ・学用品費 258件 811万1千円
- ・校外活動費 81件 17万2千円
- ・修学旅行費 74件 332万8千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	1,761万3	1,752万0	362~363

【教育総務課】

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めた。

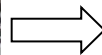
工事請負費内容

学校名	工事名称	金額 (円)
第一中学校	貯水槽取替工事	6,318,000
	体育館横屋外便所工事	5,935,680
三会中学校	防水改修工事	1,857,600

<第一中学校 貯水槽取替工事>



(着工前)

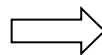


(完成)

<第一中学校 体育館横屋外便所工事>



(着工前)



(完成)

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	4	非構造部材 耐震化事業	3億3,493万8	2億9,855万2	362～365

【教育総務課】

中学校の校舎・体育館などの建物の耐震化については、平成24年度で耐震補強工事が完了している。体育館天井部材の落下防止対策等をはじめとした非構造部材の耐震化は、平成26年度は、3校（第二中、第三中、三会中）の工事を実施し、また、平成27年度工事予定の2校分（第一中、有明中）の実設計を行った。（平成25～27年度の3か年計画）

非構造部材落下防止工事（中学校）請負費内容

学校名	工事名称	金額（円）
第二中学校	体育館非構造部材落下防止改修工事	109,242,000
第三中学校	体育館非構造部材落下防止改修工事	92,642,400
三会中学校	体育館非構造部材落下防止改修工事	92,124,000

<三会中学校 体育館>



(着工前)



(完成)

小中学校の耐震化等の状況（平成27年4月1日現在）

区分		小学校	中学校	計	県内	全国(H26)
耐震診断実施率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.5%
耐震化率	25年度	100.0%	100.0%	100.0%	87.9%	92.5%
	26年度	100.0%	100.0%	100.0%	94.3%	95.6%

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	9,853万8	7,646万9	364～381

【社会教育課】

○緊急雇用創出事業（郷土史研究支援業務委託料） 654万5千円

市民の郷土史研究を支援する業務に従事する中で、新規雇用者に情報の収集・整理・加工・発信技術及び文化財の調査・保存並びに郷土史の知識を身に付けさせ、情報処理や文化財業務、教育施設、観光分野で活躍できる人材を育てる。文化財関連業務を行う業者に委託し、7人の作業員を雇用し事業を行った。

○全国子守唄フェスタ経費 13万6千円

子守唄を持つ全国7市村の首長の会議と保存団体による発表会へ参加した。
平成26年度開催地：大分県佐伯市

○市民文化講座経費 9万9千円

第207回市民文化講座「島原と深溝」	109人
島原城天守閣復元50周年記念事業「島原の歴史と舞踊講座」	104人

○梅林俳句会経費 2万円

参加者数	52人
------	-----

○さつき会衣装購入助成事業 220万0千円

財団法人自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を活用し、さつき会の地域行事への参加などに一層弾みをつけるため、活動に用いる衣装の新規購入に対して助成を行った。



○市美術展経費 49万円

出品者数	262人
出品点数	430点
入場者数	1,288人

○自主事業運営経費 1,222万6千円

芸術性の高い優れた舞台芸術や人気アーティスト等に接する機会を設けるため、公演事業を実施し、市民の文化の向上に努めた。また、子どもたちに体験の機会を設けるため、通年で「子ども狂言ワークショップ」を開催した。

- ・島原文化会館 大ホール1, 202席

公演名	入場者数
ピノッキオの冒険	390人
チェコ国立室内管弦楽団パルドビツェコンサート	691人

- ・有明文化会館 大ホール700席

公演名	入場者数
米良美一トーク&コンサート	505人
しまばら落語会 花緑・木久蔵・王楽三人会	336人

- ・子ども狂言ワークショップ

開講	参加者数
5月から10月まで(計12回)	28人



○市民音楽祭経費 108万8千円

部門	入場者数
洋楽の部	654人
小中学生の部	2,687人
邦楽の部	398人

○社会教育指導研修経費 573万5千円

社会教育を推進するため、社会教育委員会議の開催、各種研修会への参加、社会教育関係団体の育成等を行った。

○文化財経費 1,686万6千円

指定文化財の保護と活用、新規の文化財登録、国指定史跡「旧島原藩薬園跡」の管理、松平文庫の公開・修復・マイクロフィルム化等を行った。

- ・文化財数 国指定5 国登録16 県指定10 市指定76

- ・松平文庫 来庫者数 264人
マイクロ撮影数 409冊(13, 182コマ)
- ・薬草園 入場者 1,858人

《島原城天守閣復元50周年記念事業》

愛知県幸田町と島原両本光寺及び松平家当主より、貴重な宝物を借用して、島原藩の歴史及び島原市と幸田町の歴史的つながりを紹介するため「深溝本光寺宝物展」を開催した。

- ・期間：10月11日から11月16日まで 37日間
- ・場所：島原城観光復興記念館
- ・来場者：4,615人



お城や武家屋敷周辺を舞台にして、座学、史跡巡り、舞踊、茶道、江戸のお菓子など、江戸時代を体験する「しまばら江戸まつり」を開催した。

- ・期間：3月28日及び3月29日 2日間
- ・場所：武家屋敷、島原城、島原図書館等
- ・来場者：延べ約3,000人



○旧島原藩薬園跡整備事業費 74万8千円

産業部との連携により、ツーデーマーチの際のチェックポイント、薬草フェアでのメイン会場とし、史跡や薬草関連商品の周知に努めた。

○島原城跡石垣修復工事関連業務報告書作成業務 609万円

平成25年度に実施した島原城石垣復旧工事の発掘調査や工事内容をまとめた報告書を作成した。

○公民館学級運営費 512万9千円

市民の需要に応じた各種講座・学級を開設した。

- ・ 三会公民館学級運営費 74万9千円
- ・ 杉谷公民館学級運営費 62万7千円
- ・ 森岳公民館学級運営費 75万4千円
- ・ 霊丘公民館学級運営費 70万7千円
- ・ 白山公民館学級運営費 70万4千円
- ・ 安中公民館学級運営費 57万5千円
- ・ 有明公民館学級運営費 101万3千円

・ 26年度学級実績

学級名	学級数	実施回数	参加人員(延べ)
青年教室	1学級	3回	26人
女性学級	10学級	87回	1,954人
家庭教育学級	7学級	52回	7,720人
高齢者学級	7学級	60回	2,280人

○放課後子ども教室推進事業経費 44万円

第一小学校において、「稽古館」を開設し、古典学習等を行った。

毎週火曜日 延べ参加人員289人

武家屋敷・山本邸において、小2以下を対象とした「寺子屋・武家屋敷」を開設し、論語の素読や暗誦などを行った。

毎週月曜日 延べ参加人員282人

夏休み中に公民館において、「スクールキッズ」を開設し、自学の習慣と学力向上を図った。

7月28日～8月1日(5日間) 有明・白山公民館 延べ参加人員148人

第五小学校において、「放課後子ども学習室」を開設し、自学の習慣と学力向上を図った。

4月24日～3月23日(長期休暇中を除く)

実施日数162日 延べ参加人員6,135人

○地域・家庭教育力活性化推進事業費 95万3千円

「子育てひろば」において石川真理子氏の講演会を実施した。また、地区ごとに「家庭教育学級」と中学校区ごとに「思春期子育て講座」を実施した。

- ・子育てひろば 開催数 1回 参加者 60人（7地区合同開催）
- ・健康教育講座 開催数 16回 参加者 805人
（回数及び人数は、女性学級、家庭教育学級、高齢者学級の再掲）
- ・思春期子育て講座 開催数 5回 参加者 651人
（回数及び人数は、家庭教育学級の再掲）

○通学合宿支援事業経費 21万4千円

子供たちにたくましく生きる力を育むため、小学校区単位で3年生から6年生までを対象として、3泊4日の通学合宿を公民館等で実施した。

- ・実施回数 6回
- ・参加者数 113人

○島原市子ども読書活動推進計画改定事業経費 14万2千円

市民が一体となって子どもの読書活動を推進するため、「第二次島原市子ども読書活動推進計画」を策定した。

- ・計画期間：平成27年度から平成31年度まで
- ・島原市子ども読書活動推進会議の開催：年4回、委員数12人

○成人式経費 109万7千円

新成人の門出を祝い、成人式を開催した。

- ・開催日 1月3日
- ・出席者 523人

○文化財等保存整備事業経費 94万3千円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行った。

- ・埋蔵文化財発掘調査 5遺跡

○森岳城跡（島原城）石垣台帳作成事業（3カ年計画の3年目） 442万5千円

・事業目的

森岳城跡（島原城）の石垣について現況を調査し台帳を作成。崩落の恐れがある石垣を事前に把握し補修の参考にするとともに、国・県史跡指定にあたっての基礎資料とする。

平成24年度から26年度までの継続事業であり、26年度は森岳城跡の外郭部分の石垣の状況や石造物、水路等の調査を行った。

・数値結果

本丸・二ノ丸・堀外周の石垣123か所、外郭石垣56か所、城内の屋敷石垣60か所の

残存状況を確認した。

石垣の刻印を12か所発見した。

城内及び城周辺の祠・水神等石造物を163か所確認した。

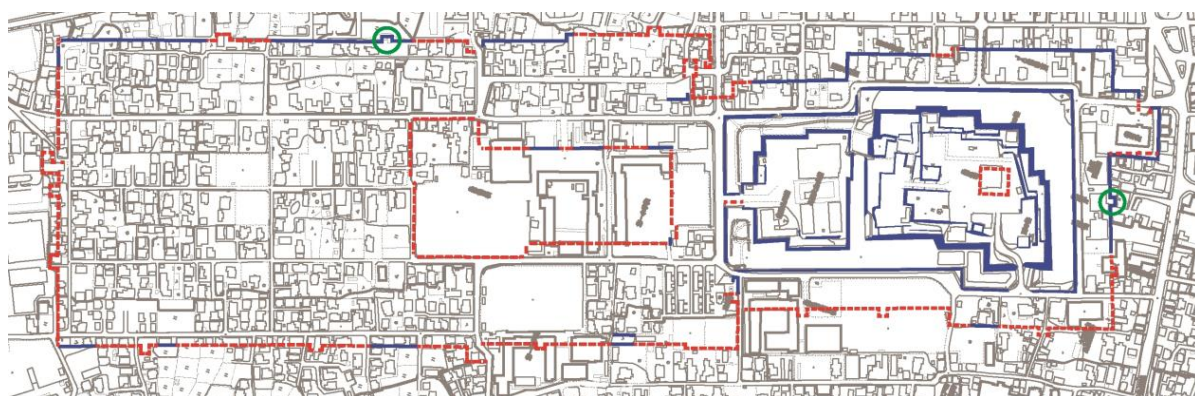
森岳城跡に関連する絵図14枚と字図345枚のデジタル撮影及び画像編集を行った。

城内の水路と聞き取り調査も行った。

・事業の成果、効果

事業で把握した石垣の状況や絵図を元に、江戸時代の森岳城跡の範囲を推定でき、外郭の櫓台2か所が現存している事を確認できた。また、石垣のハラミ等破損箇所も特定できた。

森岳城跡の長崎県の史跡指定にあたり、重要な資料となる。



森岳城跡石垣復元図

—江戸時代から残る石垣墨線 —絵図等から想定した石垣墨線 ○櫓台跡現存部分

○社会教育総務費 393万3千円

社会教育を推進するため、2人の社会教育指導員を雇用し、高齢者学級及び女性学級の指導を行った。

○少年センター運営経費 534万4千円

少年犯罪・非行等の未然防止のために、早期発見・補導活動、相談活動、環境浄化活動を実施した。

※平成26年度実績

- ・補導件数 78件
- ・相談件数 11件
- ・白ポスト回収 411点

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	4	2	公民館費	1億5,710万5	1億1,150万2	380～391

【社会教育課】

○公民館運営費 4,764万5千円

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用のしやすい環境づくりを行った。

平成26年度公民館利用状況（平成26年4月～平成27年3月）

	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
有明	110	12,347	485	7,189	1,357	9,091	199	7,340	2,151	35,967
三会	54	5,168	270	6,293	444	3,803	189	5,428	957	20,692
杉谷	70	2,529	357	6,840	785	9,027	248	7,034	1,460	25,430
森岳	144	5,544	774	11,695	1,214	10,801	553	14,285	2,685	42,325
霊丘	70	2,856	378	6,085	1,162	12,175	333	6,062	1,943	27,178
白山	91	2,525	185	5,540	1,413	16,433	152	5,484	1,841	29,982
安中	134	3,432	176	6,711	529	4,720	193	6,035	1,032	20,898
計	673	34,401	2,625	50,353	6,904	66,050	1,867	51,668	12,069	202,472

主な施設整備

- ・雨漏り修繕（安中公民館） 14万0千円
- ・調理室床張替え（三会公民館、有明公民館） 88万5千円
- ・畳表替え（有明公民館） 13万3千円

○公民館洋式便器温便座化事業 133万1千円

各公民館利用者の利便性の向上を図るために、洋式便器を温便座に改修した。

○霊丘公民館エレベーター設置事業 315万2千円

霊丘公民館利用者の利便性の向上を図るために、エレベーターの設置に向け、地質調査及び設計を行った。

- ・設計及び管理業務 242万8千円
- ・地質調査業務 72万4千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	4	3	東京学生寮費	1,575万0	1,346万5	390～391

【教育総務課】

島原市東京学生寮は、昭和16年に中島飛行機製作所の女子寮として建設された建物を昭和38年4月1日に島原市が購入し、島原市東京学生寮として発足した。これまでに498人の寮生が利用してきたが、建物の老朽化による倒壊の危険性が高い等との理由から平成26年8月31日をもって廃止した。

※東京学生寮の寮生退寮に伴う補償金

- ・移転補償金 11件 220万円
- ・家賃補償金 14件 524万円

○所在地 東京都武蔵野市吉祥寺東町二丁目45-11

○建物 木造瓦葺き2階建 延面積 476.55㎡



<東京学生寮外観>

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	4	4	図書館運営費	1億8,690万2	1億7,702万7	390～393

【社会教育課】

○図書館指定管理料 6,349万7千円

島原図書館、有明図書館は、指定管理者として一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託している。

・島原図書館

開館日数	288日	登録者数	48,918人
利用者数	36,928人	貸出冊数	164,282冊
蔵書数	117,977冊	視聴覚資料	4,535点

自主事業

おはなしひろば、おはなしのじかん、おはなしのじかん0. 1. 2、郷土史を学ぼう会、映画会、七夕まつり、夏休み工作教室、夏休み科学教室、図書館まつり、クリスマスおはなし会、かるた大会、手作り講座（布の絵本づくり、こけ玉作り、クリスマスリース作り、かるた会等）、読書感想画展、天体観測会、図書館まつり青空市、ブックリサイクル

・有明図書館

開館日数	288日	登録者数	48,918人
利用者数	14,826人	貸出冊数	76,973冊
蔵書数	73,995冊	視聴覚資料	1,217点

自主事業

ちいさなおはなし会、おはなしのじかん、こんねクイズ、夏休み工作教室、夏休み映画会、図書館まつり、子ども向け講座「えいごであそぼう」大人向け講座「バッグ作り」

○島原図書館駐車場整備事業 1億131万2千円

島原図書館利用者の利便性を向上させるために、土地開発公社から土地を購入し、図書館駐車場として活用を開始した。

- ・駐車台数 33台

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	5	文化会館運営費	8,390万7	8,290万0	392~393

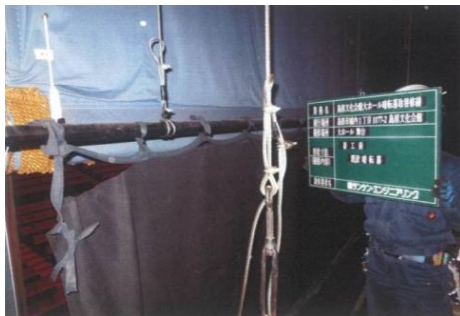
【社会教育課】

○修繕料 930万7千円

施設の整備については、島原文化会館にて大ホールの暗天幕の取替や舞台調光設備の保全整備、中ホール照明器具取替の修繕を行い、又、有明文化会館においては会館内の舞台照明設備の保全整備等や照明用回路の増設及び調光基盤等の調整を行った。

施設名	修繕料
島原文化会館	428万3千円
有明文化会館	502万4千円

<島原文化会館 大ホール暗転幕取替>



(着工前)



(完成)

○文化会館指定管理料 6,906万4千円

島原文化会館、島原市有明文化会館は、指定管理者として、一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託した。

・島原文化会館 指定管理料 3,983万4千円

開館日数	309日
利用人数	74,632人
利用回数	902回
自主事業	「避難訓練コンサート」を初めて開催。

・有明文化会館 指定管理料 2,923万円

開館日数	309日
利用人数	59,435人
利用回数	1,772回
自主事業	・「南極物語」ほか3篇を無料上映 ・大ホール舞台裏等の見学と体験を行う「バックヤードツアー」を開催。

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	4,907万3	4,609万9	392~397

【学校教育課】

○学校体育の質的向上と部活動の充実費 263万円

児童・生徒の体力向上と国民体育大会（長崎がんばらんば国体）に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図った。

- ・部活動消耗器材費 67万5千円
- ・部活動運営費補助金 195万5千円

○児童・生徒及び教職員の各種健康診断の実施 519万6千円

島原市立小・中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断を実施した。

- ・児童・生徒検診（結核、心臓、蟻虫、尿、小児成人病予防） 329万3千円
- ・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿） 190万3千円

○防災教育事業 159万円

噴火災害復興の体験から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を引き継ぎ、生命（いのち）の教育に努めるため、防災計画の見直しや防災学習の充実を図った。

- ・全小・中学校で非常食体験を実施 374円×4,250食=1,589,500円
乾パン、災害救助米、氷砂糖、ふりかけ、水を支給
小学校 6月3日いのりの日に実施 中学校 9月1日実施

【教育総務課】

○就学援助費

児童生徒医療費 131万9千円

経済的理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対して、医療費の援助を行った。

- ・医療費援助（小学生） 162件 87万7千円
- ・医療費援助（中学生） 72件 44万2千円

【スポーツ課】

○有馬スポーツ賞 49万4千円（団体10、個人26、副賞117）

- ・有馬スポーツ賞授賞状況

小学校		中学校		合計	
個人	団体	個人	団体	個人	団体
10人	6団体	16人	4団体	26人	10団体

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	2	スポーツ振興費	6億2,787万8	6億2,021万6	396～403

【スポーツ課】

○九州学生駅伝大会 1,825万9千円

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大イベントとして定着させ、駅伝を通しての交流都市を目指し、平成新山を冠とする大会として島原半島ジオパークはもとより島原を広く県内外にアピールした。

経済効果

宿泊及び飲食関係等の直接効果	約3,065万円
宿泊及び飲食関係等の生産誘発による波及効果	約2,076万円



○「夢の教室」公演事業 275万4千円

スポーツ選手とそのOB・OGが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図った。

<開催実績>

開催校：9校 学級数：14学級 「夢の先生」：7人



○島原市民体育祭 283万7千円

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため島原市民体育祭を開催した。

出場者数

市民体育祭大運動会出場者	平成26年10月 5日	1,593人
市民体育祭各種競技会 (22 競技)	平成26年 9月28日 ※一部競技は別日程	1,707人



上記の他、島原市教育委員会主催でスポーツ大会や教室の開催も行った。

開催状況

区 分	期 日	対 象	参加者 (人)
市民親睦ソフトバレー大会	7月27日	一 般	200人
少年軟式野球大会	9月 6日	中 学 生	60人
少年ソフトボール大会	12月13日	小 学 生	120人
テニス大会	12月14日	一般・高校生	88人
バドミントン大会	2月15日	一 般	74人
市民親睦卓球大会	2月22日	一 般	152人
市民親睦ソフトボール大会	3月 8日	一 般	120人
バドミントン教室	7月	一 般	30人
ソフトテニス教室	7月	一 般	14人

○体育施設指定管理料 1億2,335万3千円

多様化する民間ニーズに、より効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、積極的に利用を促進し、健康増進及びスポーツの振興を図った。

指定管理料

	委託料	委託先
島原復興アリーナ指定管理料	4, 1 2 4 万 5 千円	(一財) 島原市教育文化振興事業団
体育館ほか施設指定管理料	4, 2 0 8 万 3 千円	(一財) 島原市教育文化振興事業団
陸上競技場ほか指定管理料	1, 2 2 2 万 2 千円	(一財) 島原市教育文化振興事業団
有明プール指定管理料	1, 5 0 8 万円	(株) しまばらウェルネッサンス
平成町人工芝グラウンド指定管理料	1, 2 7 2 万 3 千円	(一社) 長崎県サッカー協会

* (一財)：一般財団法人，(一社)：一般社団法人

○体育施設整備費 6,235万円

各体育施設の補修工事や整備を行い、利用者が安心・安全・快適に使用できるよう環境整備に努めた。

各施設の主な修繕・工事状況

修繕・工事名	金額
市営球場グラウンド整備工事	3, 6 6 7 万 2 千円
三会ふれあい運動広場バックネット設置 (B) 工事	4 0 2 万 8 千円
市立温水プール塗装工事	6 4 2 万 6 千円
市営総合運動公園庭球場スタンド上屋設置工事	7 0 6 万 6 千円



【市営球場グラウンド整備工事】



【三会ふれあい運動広場バックネット設置工事】

○第69回国民体育大会（長崎がんばらんば国体） 3億5,670万5千円

長崎がんばらんば大会に向けて、長崎がんばらんば大会リハーサル大会を開催し、大会の運営を確認した。また、長崎がんばらんば国体までの期間については、炬火に伴う採火イベントや集火式を行い、市内の各イベント時において広報活動を行って、長崎がんばらんば国体へ向けた機運向上へ務めた。

開催競技において、長崎がんばらんば国体については、レスリング、弓道、バレーボール、サッカーの4競技、長崎がんばらんば大会については、バレーボール、サッカーの2競技を開催し、県内外から多くの選手・役員・一般観覧者をお迎えした。

開催競技

長崎がんばらんば国体	参加・観覧者数	会 場
レスリング競技会	10,525人	島原復興アリーナ
弓道競技会	5,390人	霊丘公園体育館・弓道場
バレーボール競技会	12,438人	島原復興アリーナ
サッカー競技会	14,360人	陸上競技場ほか2会場

長崎がんばらんば大会	参加・観覧者数	会 場
バレーボール競技会	1,970人	島原復興アリーナ
サッカー競技会	1,952人	平成町多目的広場



(採火イベントの様子)



款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	5	3	学校給食費	1億9,629万8	1億9,422万1	402~405

【学校教育課】

○学校給食経費 1億6,833万2千円

児童・生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図る。

- ・学校給食業務委託料(1億1,700万円)
- ・学校給食配送業務委託料(1,328万4千円)
- ・消耗品費(852万5千円)

・安全及び衛生管理の徹底を図った。

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年3回(各学期毎)
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年3回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年2回(6納入業者)
学校給食従事者の健康管理	細菌等についての検便実施	毎月2回

・学校給食の充実を図るため、研修会等を行った。

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会(毎月)	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会(隔月)	食育の取組状況、献立の兼用、学校給食実施上の諸問題	給食会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

・完全給食実施状況

名称	第二小調理場	第三小調理場	共同調理場	第五小調理場	有明学校給食センター
調理数	二小 273 一中 398	三小 323 二中 273	一小 486 四小 216 三会小 285 長貫分校 14 三会中 161	五小 370 三中 213	大三東小260 高野小 98 湯江小 277 有明中 385
合計	671	596	1,162	583	1,020
主食回数	米飯給食 週3回、パン給食 週2回				

【教育総務課】

○就学援助費

児童生徒学校給食費 2,588万9千円

経済的理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対して、学校給食費の援助を行った。

- ・学校給食費援助（小学生） 297人 1,306万9千円
- ・学校給食費援助（中学生） 252人 1,282万円



<共同調理場>



<有明学校給食センター>

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
12	1	1	元金	21 億 3,760 万 4	21 億 3,760 万 4	406~409

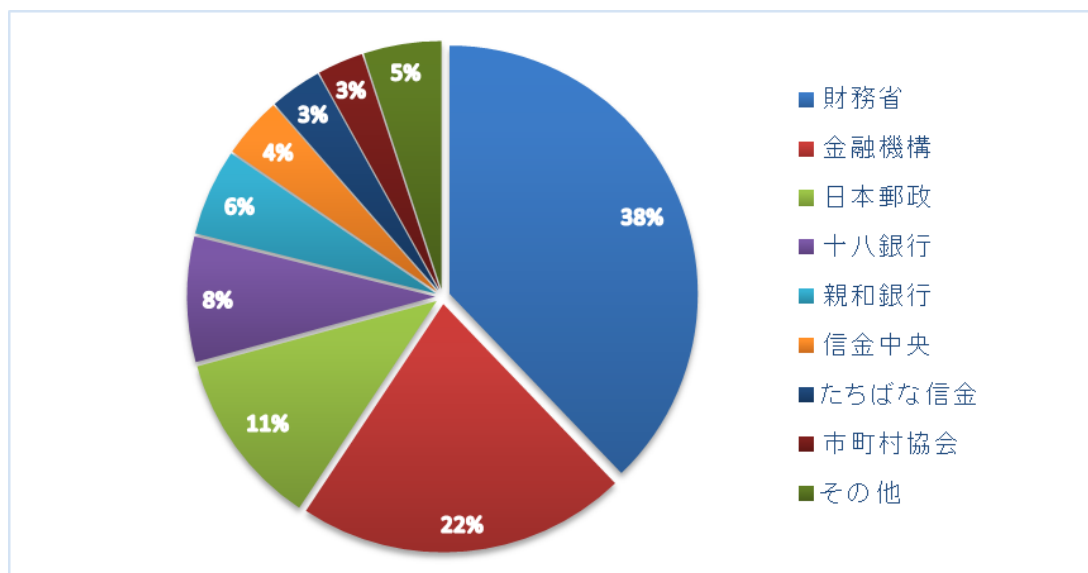
【総務課】

○長期債元金償還金（定期償還） 21 億 3,760 万 4 千円

市債に係る元金の償還を行った。

・定期償還

借入先	償還額 (単位:円)
財務省理財局	808,709,449
日本郵政株式会社	244,128,615
地方公共団体金融機構	459,706,353
十八銀行	174,274,000
親和銀行	120,596,000
長崎銀行	16,100,000
信金中央金庫	85,070,000
たちばな信用金庫	72,558,000
長崎県信用漁業協同組合連合会	14,448,000
住友生命	35,100,000
日本生命	16,666,000
市町村振興協会	64,160,000
県自治振興資金	26,087,500
合計	2,137,603,917



款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
12	1	2	利子	2億2,879万4	2億2,646万5	408~409

【総務課】

○長期債利子償還金 2億2,629万4千円

市債に係る利子の償還を行った。

・定期償還

借入先	償還額(単位:円)
財務省理財局	108,868,307
日本郵政株式会社	22,745,775
地方公共団体金融機構	67,960,201
十八銀行	4,738,459
親和銀行	5,373,528
長崎銀行	1,848,905
信金中央金庫	5,334,689
たちばな信用金庫	3,542,089
長崎県信用漁業協同組合連合会	695,128
住友生命	1,013,512
日本生命	441,575
市町村振興協会	3,731,206
県自治振興資金	0
合計	226,293,374

地方債借入先別及び利率別残高の状況

(単位:千円)

借入先	0.5%以下	0.5%~1.0%	1.0%~1.5%	1.5%~2.0%	2.0%~2.5%	2.5%~3.0%	3.0%超	合計
財政融資資金	1,852,604	1,948,828	2,270,361	2,420,218	60,855	32,126	35,499	8,620,491
旧郵政公社資金	47,816	90,798	305,737	462,429	17,213	32,344	94,929	1,051,266
金融公庫資金	678,108	3,255,009	2,321,714	319,208	195,296	58,888	29,123	6,857,346
市中銀行	11,600	1,208,048	80,360	184,590	75,700	8,341		1,568,639
共済等	13,500	283,540	28,890					325,930
その他の金融機関	638,150	115,552	369,464	69,632	35,798			1,228,596
合計	3,241,778	6,901,775	5,376,526	3,456,077	384,862	131,699	159,551	19,652,268
利率別残高の割合	16.5%	35.1%	27.4%	17.6%	2.0%	0.7%	0.8%	100.0%

○一時借入金利子 17万1千円

現金が不足した際に借り入れた一時借入金の利子の償還を行った。